

受賞しました！

かながわボランティア活動奨励賞



平成26年度かながわボランティア活動奨励賞を受賞しました。

「他のモデルとなるような実践的な活動で、地域社会への貢献度が高い」団体と個人が表彰されます。今年度は5団体が選ばれました。表彰式では吉川伸治副知事が「県だけではできないきめ細かい活動に感謝したい」と挨拶。

当会の臼井勝之会長が「子ども達を野に戻す取り組みを進めたい」と受賞の言葉を述べました。

今年は活動15年目の年。幸先の良いスタートとなりました。

河川協力団体に指定されました

国土交通省により、当会が河川協力団体に指定されました。河川協力団体制度は「自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援する制度」で、現在、神奈川県では7団体が指定されており、相模川では初。

協力団体は、河川の維持管理や河川管理に関する情報等の収集、調査研究、河川管理に関する知識の普及や啓発活動などに取り組んでいきます。河川法上の許可等、例えば案内看板の設置等について、河川管理者と直接協議できることや河川管理者が行う草刈りやビオトープの整備等の業務受託が可能になります。同省との関係強化により、更なる活動強化が期待されます。



発行！2014 年度活動報告書



当会の14年間の活動とこれからをまとめた活動報告書が東京ガス環境おうえん基金のご支援で完成しました。

一口に14年と言いますが、小学生だった参加者が成人になってしまう、48歳だった小生が62歳になってしまうのですから、それなりの重みがあります。

振り返って見れば、上手く出来たこと、そうでないこと、いろいろですが、グランドなどの人工的環境になることなく、自然の遊び場として残すことができたことを最大誇りとしています。

これも会員を始めとする皆様のご支援の賜と深く感謝いたします。

さて、これからの10年ですが、子ども達を野に戻すための取り組みを地道に進めたいと思っています。

人、モノ、資金の確保、組織力の強化が最大の課題ですが、笑顔の溢れる取り組みにして行けば、なんらかの突破口が開けるので

はと能天氣に構えております。

先ずは、川で遊ぶ。難しいことは抜きにして、野遊びを心底楽しみたいと思っています。「川ガキ復活！」を合い言葉に、カヌーや魚取り、トンボ調査など、いろんなことにチャレンジして行きます。

**めぐりあいが人生ならば、
素晴らしき仲間めぐりあうのもこれ人生であります。**

力になるのは人との出会いです。ここ数年、活動が活発になるにしたがい、たくさんの人との出会いがありました。その蓄積が、やぎ島探険やエコアップ隊、企業のCSR活動のサポートや上下交流活動へと進展し、今回の受賞に結びついたと思っています。

大切なのはモノやお金でなく、人のつながり、人と人の関係づくりにあることを知りました。

出会いの中で気がついたことが一つあります。一般公募のやぎ島探険を事例にお話ししますと、参加者（受益者）がサービスの利用者になってしまい、支援者になっていないと言うことがあります。楽しんで参加してもらうことは大いに結構なのですが、私たちはイベント屋ではありません。川の自然環境を守り、地域の環境教育の推進を進めようとしているボランティア団体であります。参加者が支援者になってくれるような進め方が大変重要になります。エコアップ隊で言えば、隊員はお客様ではなく、仲間です。準備から後片付け、企画づくりまで、いっしょになって進めて行くことが必要です。頭ではわかっていたのですが、つい、お客様扱いしてしまっていた。これが一番の反省点であります。エコアップ隊を柱に、川の自然楽校、カヌー体験、柴漬けづくり、トンボと遊ぼう平塚（トンボのすむ街づくり）などに取り組んで行きます。オギの原っぱの復元にも力を入れて行きます。今年もめいっぱい楽しむのであります。